令和7年度　民間奨学団体奨学金　採用者数一覧

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	R7年度 採用者数 ※1	在籍奨学生数	募集人数	応募人数 ※3
1	11月上旬	大学経由	光科学技術研究振興財団	給与	博士後期課程に入学してから月額20万円	最長3年間 (2025.04～2028.03)	令和5年11月現在修士課程1年次生で、日本国籍を有し、光科学技術関連分野において博士学位の取得を目指す学生。(令和7年4月に財団の指定する大学院の博士後期課程への入学・進学・編入学を希望する者)	他の民間育英奨学団体の給付型奨学金との併給不可	0	0	－	－
2	7月上旬	大学経由	林レオロジー記念財団	給与	学部生　月額30,000円 大学院生　月額50,000円	・学部3年次に進級または修士1年次に進学する者：令和7年4月から2年間 ・学部4年次に進級または修士2年次に進級する者：令和7年4月から1年間	理論・メカニズムの設計工学・ロボット工学・AI技術・IT技術・制御工学等の自動製造システムに関する学問を習得または学術研究を志す工学部・理学部系の大学生及び大学院生、もしくは「食品産業に関する」農水産学部・生命科学部系等の大学生及び大学院生のうち、以下のいずれかに該当する者。 ・令和7年4月に、学部3年または4年に進級する者。 ・令和7年4月に、大学院修士課程1年に進学を希望する者または修士課程2年に進級する者。	可	0	1	各学部・学院等からそれぞれ1名まで	2
3	7月下旬	大学経由	原子力工学大学院博士課程奨学生	給与	月額80,000円	博士課程(後期)3年間のうち、学生の指定する2年間	原子力に関する研究(原子力エネルギー、原子炉処理、原子炉熱流動、原子炉燃料、燃料サイクル、軽水炉技術、新型軽水炉、廃炉・廃止措置、FBR、核融合、放射線利用等)行う学生で下記①②のいずれかに該当する者 ①令和7年4月に大学院博士課程(後期)に進学予定の修士課程・博士課程(前期)学生 ②現在、大学院博士課程(後期)1年在学生	可	0	0	－	－
4	8月上旬	個人申請	帝人奨学会	給与	月額10万円	最短修業年限	医学・薬学・バイオ学系、理学系、工学系、情報学系に在籍し、2026年秋または2027年4月に国内大学の博士課程への進学が決定している、または見込まれている大学院生(外国人留学生も可)	可	0	0	制限なし	－
5	8月上旬	大学経由	種とまと財団	給与	学部，大学院どちらも月額80,000円	進級後の学部4年次1年間，または進学後の修士課程2年間	以下のいずれかに該当する者 ・理学部または工学部に在籍し、4年次への進級が確実である学部3年次生 ・本学の理学院、生命科学院、工学院、総合化学院、情報科学院、環境科学院、医理工学院の修士課程に進学が決定している学部4年次生(医歯薬・看護福祉・農学系専攻は対象外)	民間奨学金は不可(給与・貸与どちらも)。	1	1	各学部から1名まで	1
6	8月上旬	大学経由	KIRII財団(研究活動助成金)	給与	上限100万円	2025年4月から2026年3月	以下のすべてに該当すること。 (1)対象分野が建築学の構造、内装に関する研究であること (2)研究活動において優秀な研究団体であること (3)研究責任者が日本国籍であること	併給内容によるため財団に確認すること。	0	0	－	－
7	9月中旬	大学経由	北海道文化財団(人づくり一本木基金)	給与	普通奨学金：年額25万円、 入学奨学金：年額15万円(新入学生のみ)	最短修業年限	工芸美術及びものづくり等の分野で修学する道内在住者または道内出身者 〇下記「工芸美術及びものづくり等の分野」の例示 ・ 道内における地域の産業・社会を支える、ものづくりや技能 ・ 道内における文化芸術活動を支える、ものづくりや技能 ・ 消費社会に溢れるものとは異なる、ものづくりや技能 ・ 各業種を支える、ものづくりや技能	可	0	0	－	－
8	9月中旬	大学経由	コカ・コーラ教育・環境財団(大学院生)	給与	月額40,000円	最短修業年限	以下すべてを満たす者 ・2025年4月に国内大学院へ進学する ・環境問題への取り組みとして、飲料容器に使用される資源(ペットボトル、プラスチック、アルミ、鉄、びんなど)、水、温室効果ガス、再生可能エネルギー、いずれかの地球・環境資源に係る学問を学ぶ者 ・26歳以下である者	可	0	2	－	－
9	10月上旬	大学経由	霞山会	給与	月額10万円 ①具体的支給期間は上記対象期間に基づき当会が定める ②支給開始月は、入学時期に関係なく4月とする	(1)修士課程在籍者 支給開始から2年間 (2)博士課程在籍者 支給開始から3年間 (3)その他	以下のすべてに該当すること。 (1)日本国籍を有する者 (2)日本の大学院(修士・博士課程)に在籍(2025年4月入学予定も含む)し、次項の各分野を専攻する者 (3)近現代中国または台湾に関する政治、経済、歴史、教育・文化の各分野を専攻する者 (4)応募時に下記の年齢の者 ①修士課程在籍(2025年4月入学予定も含む)者…30 歳未満 ②博士課程在籍(　〃　)者…40 歳未満 (5)給与所得者ではない者 (6)将来、大学あるいは研究機関において研究職を希望する者	不可	0	0	－	－
10	10月上旬	大学経由	似鳥国際奨学財団	給与	月額50,000円 ※優秀者には月額最大30,000円の学習奨励金を追加支給 ※IT人材奨学生には月額30,000円の学習奨励金を追加支給	1年	下記の①～②の項目にすべて該当する者とする。(全ての資格は、2025年10月1日時点) ①国籍：日本国籍を有する人(※外国籍を有する場合でも、在留資格が「永住者」または「定住者」の人は応募可能。) ②年齢・在籍課程・学年： 【学部(4年制)】23歳以下で、学部課程の1～4年生に正規生として在籍予定の者。 【学部(6年制)】23歳以下で、学部課程の1～6年生に正規生として在籍予定の者。ただし、5～6年生のみ25歳以下まで応募可能。 【大学院生】25歳以下で、修士課程1～2年生に正規生として在籍予定の者。	貸与のみ可	0	13	－	－
11	10月上旬	大学経由	電通育英会(助成事業)	助成金	上限100万円	2025年4月1日～ 2026年3月31日	【助成対象】 ①大学公認団体または学内組織ではないグループの場合は顧問・指導教員が存在すること ②団体としての活動実績が2年以上であること ③学生(主に大学生)が主体となって活動していること ④次世代リーダーの育成・リーダーシップ育成に資する活動をしていること	可	0	0	－	－
12	10月中旬	大学経由	蔵人記念財団	給与	月額40,000円	最短修業年限	以下のすべての要件を満たす者。 ・現在、学部1年生である者 ・応募時点において日本国籍を有している者 ・食に関する研究をしている、または志している者(学部は問わない)※財団の募集要項には学部指定がありますが、学部関係なく応募いただけます。 ・目安として、世帯年収が400万円以下である者(あくまで目安であり、必須の要件ではない)	可	0	1	－	－
13	11月上旬	個人申請	日本通運育英会	給与	月額30,000円	最短修業年限	以下の要件をすべて満たす方が申請できます。 A. 交通事故により保護者等を失うか、又は保護者等が重度の心身障害(※1)を負った方。あるいは、学生本人が交通事故により障害もしくは傷病を負った方。(※2) (※1)保護者等の重度の心身障害とは、次のいずれかに該当することを言う。 1. 障害者手帳　　1～4級 2. 精神障害者手帳　1～3級 3. 自動車損害賠償保障法施行令別表第1及び第2の1～7級 (※2)学生本人の場合は、上記(※1)を適用せず、軽度であってもその障害もしくは傷病と交通事故との因果関係が交通事故証明書、診断書等で認められれば、対象者となる。 B. 2025年4月現在、21歳以下である方。 C. 経済的に就学が困難であると認められる方。 D. 学術優秀、品行方正で勉強意欲のある方。	可	0	0	－	－

14	11月上旬	大学経由	佐々木泰樹育英会（建築）	給与	大学生：年額60万円 大学院生：年額240万円	2025年4月から1年間	以下のすべてに該当する者。 ・大学または大学院の正規課程に在籍し、建築を専攻している者 ・建築学及び建築文化の発展に寄与するという高い志と熱意を有する者 ・一級建築士・構造設計一級建築士・設備建設一級建築士として独立し、自ら建築士事務所の開業を志しているもの（組織設計事務所、建築会社、不動産開発業者等への勤務を希望するものを除く） ・2025年4月2日時点で29歳以下の者	可	0	0	－	－
15	11月上旬	大学経由	佐々木泰樹育英会（口語詩句）	給与	年額60万円	2026年4月から1年間	以下のすべてに該当する者。 ・日本国籍を有する大学生 ・口語による詩・アフォリズム・俳句・川柳・短歌に対する創作意欲がある者 ・優れた作品を通じて、文学の発展に寄与するという熱意を有する者 ・財団運営の口語詩句投稿サイト72hにおいて、2024年3月～2025年1月の間に投稿された作品が10作品以上ある者	可	0	0	－	－
16	11月上旬	獣医	髙居百合子獣医学奨学財団	給与	大学生：月額50,000円、 大学院生：月額80,000円	大学生：3年間 大学院生：4年間	当該年度の4月時点で、獣医学を専攻する学部4年次生または大学院（博士課程）1年生であり、日本国内に居住し日本国籍を有している者。	貸与のみ可	0	3	－	－
17	11月上旬	大学経由	荒井芳男記念財団	給与	年額10万円	最短修業年限	2025年4月1日時点で、以下の全てに該当する者。 ・学部1年生以上で、機械系、化学系、電気系の学部または学科に在籍している者 ・23歳以下である者 ・日本国籍または日本の永住権を有する者 ・最短修業年限にて卒業見込みである者	可	0	0	－	－
18	11月下旬	大学経由	JEES・三菱商事科学技術学生奨学金	給与	月額10万円 一時金10万円（年度毎）	令和7年4月から博士後期課程の修了まで	令和7年4月に博士後期課程に正規生として在籍し、理工系分野（医学・薬学・獣医学・歯学は除く）を専攻する者であり、日本国籍を有するまたは日本への永住を許可されている者。	可。ただし、他団体から受ける給付合計額が年60万円を超えないこと（貸与型、学費免除等は金額に含まない） 「北海道大学アンビシャス博士人材フェローシップ」「北海道大学DX博士人材フェローシップ」との併給可能	2	5	各学院等から3名まで	4
19	11月中旬	大学経由	JEES・JRA獣医学生奨学金	給与	月額50,000円	令和7年4月から2年間	令和7年4月現在、学部5年次に正規生として在籍予定の者で、獣医師の国家資格取得を目指し、将来競走馬の医療に従事する意欲がある者	可	6	9	制限なし	9
20	11月中旬	大学経由	岩谷直治記念財団	給与	月額15万円	2025年4月より標準修業年限までの最長2年間	（1）日本国籍を有する者 （2）2025年4月1日時点で日本に在住し、大学院の修士課程または博士課程に在籍している者または入学決定者 （3）自然科学系および関連する学際分野を専攻している者＜応募資格に該当する自然科学系および関連する学際分野＞工学、理学および農学の全般、ただし、医学、薬学は除く （4）2025年4月1日時点の年齢が修士課程は満30歳未満、博士課程は満35歳未満の者 （5）奨学金支給1年目に5回開催する奨学生例会に年間を通して出席し、奨学生としての義務を果たせる者（詳細は、「3. 奨学生の義務」を参照） （6）奨学期間中に他国への短期留学、交換留学等により日本を離れる予定のない者	不可※大学からの月額10万円未満の奨学金は除く	0	0	－	－
21	12月上旬	大学経由	クマ財団	給与	月額10万円	2025年4月から1年間	下記の全てに該当する者 ①2025年4月に、4年制大学、大学院に在籍する学生 ②2025年4月1日時点で25歳以下の者 ③クリエイターを目指し創作活動をしている者。未開発な領域に挑戦し、新しい価値を創造しようとしている者。伝統から新たな価値を創ろうとしている者。	可	0	0	－	－
22	12月上旬	大学経由	同盟育成会古野給与奨学金 （大学生）	給与	月額40,000円	最短修業年限 （最長2年）	2025年4月に4年制学部の3年次に進級し、ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指している者およびメディア関係全般での就業・研究を目指している者※留学生も申請可能 （成績目安：1、2年生時の成績において、B+以上の評価が5割以上あること）	可	0	0	各学部・学院等からそれぞれ3名まで	0
23	12月上旬	大学経由	同盟育成会古野給与奨学金 （大学院生）	給与	月額60,000円	最短修業年限 （最長2年）	2025年4月に修士課程1年次生に進学し、ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指している者およびメディア関係全般での就業・研究を目指している者※留学生も申請可能 （成績目安：学部3、4年生時の成績において、B+（優あるいは優相当）以上の評価が5割以上あること）	可	0	1	各学部・学院等からそれぞれ3名まで	0
24	1月下旬	大学経由	尚志社	給与	【学部3・4年】自宅：月額30,000円、自宅外：月額50,000円 【学部5年・修士】自宅：月額40,000円、自宅外：月額60,000円 【博士後期】自宅：月額50,000円、自宅外：月額70,000円 上記に加え、授業料実費を支給。 ※大学院生は入学料実費も支給。	最短修業年限 （最長3年間）	以下のすべての要件を満たす者 ・奨学金受給開始時点で、文系学部3年次、6年制学科の4～5年次、修士課程1年次または博士後期課程1年次の者 ・（学部生・修士課程）成績が、本人の属する学部等の上位10%以内であること ・（博士課程）大学および大学院における成績が特に優れていること ・学部3年は25歳未満、学部4年は26歳未満、学部5年は27歳未満、修士1年は30歳未満、博士1年は35歳未満であること ※家族の年収合計が1500万円を超える場合は、原則として応募不可。	JASSO（貸与）のみ可	1	5	各学部・学院等からそれぞれ1名まで	3
25	1月上旬	大学経由	G-7奨学財団	給与	年額最大120万 ※選考委員会での審査により金額決定	1年間 ※延長あり。最大で最短修業年限。	日本国籍を有する大学生・大学院生で、学業優秀かつ品行方正な学生。 ※学力基準及び家計基準あり。詳細はホームページを参照。	可。ただし支給額が調整される場合あり。	3	3	上限なし	16
26	1月下旬	大学経由	Innovation of FUJI	給与	月額60,000円	2年間	食に係わる学部・学科・コース（食文化・食マネジメント・食科学・農学部・水産学部などを含む）で学ぶ学部2年生・3年生・修士課程1年生	JASSO給付、貸与型奨学金のみ可	2	5	各学部・学院からそれぞれ1名まで	2
27	12月中旬	大学経由	社会医療法人緑泉会看護学生奨学金	貸与（免除有）	月額65,000円	最短修業年限	看護師を養成する学校に在学中の学生で2027年3月以降に卒業見込みの者	可	0	0	－	－
28	12月下旬	大学経由	ロレアル―ユネスコ女性科学者　日本奨励賞	給与	年額100万円	1度のみ	生命科学、物質科学の分野において、日本国内で博士後期課程に在籍あるいは、博士後期課程に進学予定で40歳未満（応募締切日2025年3月31日時点）の女性	可	0	0	－	－
29	2月下旬	大学経由	日本証券奨学財団	給与	（自宅）　月額45,000円 （自宅外）　月額55,000円	最短修業年限	2025年4月1日現在、以下のいずれかに該当するもの。 ・学部2年生（22歳以下） ・修士・専門職課程1年生（25歳以下） ・博士課程1年生（28歳以下） ※大学全体で最大3名を財団へ推薦しますが、うち最低1名は学部2年生を推薦します。 ※6年制課程在籍の場合も、学部2年生が応募可能です（学部5年生は対象外となります）。	JASSO貸与のみ可 ※民間/地方自治体の奨学金は併願も不可	0	2	各学院から1名まで	1

30	1月上旬	大学経由	SUNBOR SCHOLARSHIP(サントリー生命科学財団)	給与	月額60,000円	最短修業年限（最大3年）	理学・農学・工学・薬学・医学等の理系の研究科に属し、2025年春期に博士後期課程（博士課程）に進学希望もしくは在学中の大学院生。※2025年秋期に博士後期課程（博士課程）進学を希望する者を含む。	可。 ただし、日本学術振興会特別研究員DC、文部科学省科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業、JST次世代研究者挑戦的研究プログラムとの併用は不可。	0	0	－	－
31	3月下旬	大学経由	楠田育英会	給与	月額30,000円	最短修業年限	学部2年生以上（6年制は4年生以上）の学生で、知識及び経験を社会で生かすため、或いは社会に寄与することを目指し、学内外での活動・ボランティア活動などの実践活動を積極的に行っている者	可	1	1	上限なし	4
32	4月下旬	大学経由	ナガワひまわり財団	給与	月額30,000円	最短修業年限	2025年4月現在、日本国籍を有し日本国内の大学（2～4年）、大学院修士課程に在学する者。 原則として、大学生は満23歳以下・大学院生は満25歳以下である者。 その他、成績要件・収入要件については募集要項を参照すること。	可	0	0	－	－
33	3月下旬	大学経由	竹中育英会	給与	月額80,000円	最短修業年限	以下のすべての要件を満たす者。 ・2025年4月1日時点で学部2年生（22歳以下）の者 ・本人が属する世帯の税込み年収の合計が800万円未満の者（目安） ※成績基準あり。詳細は募集要項等を確認してください。	JASSOは可。民間給付は不可。民間貸与は事前に相談すること。	2	6	各学部から2名	7
34	3月中旬	大学経由	CTC未来財団	給与	月額60,000円	4年間(3年生へ編入学した場合は2年間)	2025年4月入学の学部1年生（20歳以下）または短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）から編入学した学部3年生（22歳以下）のうち、ITを志す者。 ※日本国籍でない者が申請する場合には、在留資格等に指定があります。詳細は募集要項を確認してください。 ※年齢は2025年4月1日時点のもの。	可	1	1	上限なし	1
35	1月下旬	大学経由	造船学術研究推進機構研究奨学生	給与	年額60万円	最短修業年限	応募時において大学院研究科の修士課程に在学し、学業・人物ともに優秀であって、指定する大学院研究科（募集要項記載）の博士後期課程への進学を希望する学生。	可	0	0	－	0
36	3月上旬	大学経由	戸部眞紀財団	給与	【学部学生】月額60,000円、【大学院生】月額70,000円	2025年4月～2027年3月の2年間　※希望者は1年間を限度に延長可能	以下のすべての要件を満たす者 ・2025年4月1日時点で学部3年次以上または大学院生（専門職課程除く）であり、30歳以下で日本国籍または同等の権利（永住者等）を有する者 ・指定学科に挙げる分野を専攻する者。	可。 ※ フェローシップ受給者は申請不可。また、高額な給付型奨学金との併給の場合は支給額が調整される場合があります。	1	3	各学部・学院等からそれぞれ1名まで	4
37	4月上旬	大学経由	キーエンス財団(1年生)	給与	月額10万円	最短修業年限	2025年4月入学の4年制学部の1年生で、2025年4月1日現在、20歳以下である者。 ※留学生は対象外	貸与型は可、給付型は不可。※日本学生支援機構の給付型奨学金は自己都合停止を選択すれば可。	0	27	－	－
38	4月上旬	大学経由	岩國育英財団	給与	年額　300,000円	4年間（6年制の学部でも同様）	・2025年4月1日に4年制大学において学部1年次生である者（休学者を除く。国籍は不問） ・医学部については、将来研究者を目指している者	可	0	0	－	－
39	1月下旬	個人申請	東京弁護士会育英財団（給付奨学金）	給与	【自宅生】法科大学院生月額50,000円、大学生・大学院生月額35,000円、 【自宅外生】法科大学院生月額70,000円、大学生・大学院生月額50,000円	最短修業年限	学術優秀かつ品行方正でありながら経済的事由により修学が困難な学生	当該財団の貸与奨学金との併用不可	0	0	－	－
40	1月下旬	大学経由	学奨財団	給与	年間12万円	最短修業年限	下記の各項目に該当する方 ①2025年3月末で20歳以下であり、2025年4月に大学2年生となる ②保護者の2024年の所得が530万円以下である ③学部・学科の偏差値（河合塾の「入試難易度予想ランキング表」）で55.0以上 ④大学1年生のGPAスコアが3.0以上である ⑤大学1年生での取得単位が10単位以上である	可	0	0	－	－
41	12月中旬	大学経由	森下仁丹奨学会	給与	月額40,000円	最短修業年限	志操堅実、学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な日本国内の大学生又は大学院生	貸与のみ可	1	1	各学部・学院等からそれぞれ1名	1
42	2月中旬	大学経由	キーエンス財団(2,3,4年生)	給与	一時金30万円	1回	2025年4月1日現在、4年制学部の2、3、4年生に在籍し、23歳以下である者。 ※昨年までの「がんばれ！日本の大学生」応援給付金を受給している場合は不可 ※留学生は対象外	可	0	61	－	－
43	2月下旬	大学経由	阪和育英会	給与	月額30,000円	最短修業年限	2025年度において学部1～4年生であり、日本国籍を有するとともに、家計の収入合計が年間600万円未満である者。 【学力基準】新学部1年生は高校3年間の認定平均値が4.3以上。新学部2年生以上は平均GPAが3.0以上。	可	0	0	各学部から1名まで	0
44	2月下旬	大学経由	住友電工グループ社会貢献基金	給与	月額60,000円	2025年4月から2年間	2025年4月現在、修士課程の1年次に在籍する者（理工系専攻の者に限る） ※留学生は応募不可	【貸与】可 【給付】当基金からの奨学金と合算して月額の総額が10万円以下の場合のみ可	1	2	各学院から1名まで	2
45	3月上旬	大学経由	上田記念財団	給与	月額60,000円	2年間	令和7年4月1日時点で、土木工学系の学部3年生（23歳未満）または修士1年生（25歳未満）である者。	可	3	6	学部・学院合わせて3名	3
46	2月中旬	大学経由	吉田育英会ドクター21	給与	月額20万円及び学校納付金等（上限250万円）	進学後、最大3年間	以下の要件をすべて満たす者。 ・日本国籍を有する者 ・2025年4月1日現在、30歳未満であり、修士課程2年次に在学中の者 ・2025年秋季または2026年春季に、日本の大学院博士後期課程への入学、または一貫制博士課程の3年次に進学もしくは編入学を希望する者 ・進学先大学院において自然科学系分野を専攻する者	【国、地方、大学】貸与は可、給付は年間100万円以内であれば可 【民間】貸与・給付ともに不可	0	1	各学院等から2名まで	0
47	2月中旬	大学経由	株式会社奥村組	給与	月額50,000円	2年間	2025年4月に北大工学院北方圏環境政策工学または環境フィールド工学を専攻する修士1年生	可	0	2	－	－
48	3月中旬	大学経由	フジクラ育英会	貸与	学部　月額30,000～60,000円 大学院　月額40,000～80,000円	最短修業年限	学部生、大学院生（学部生優先）	可	1	1	各学部・学院等からそれぞれ1名	1
49	3月下旬	大学経由	鹿島育英会	給与	【学部・修士課程】年額72万円 【博士後期課程】年額96万円	【学部・修士課程】2年間 【博士後期課程】3年間	以下のすべての要件を満たす者。 ・2025年4月1日時点で、学士課程3年生（22歳以下）・修士家庭1年生（24歳以下）・博士後期課程（26歳以下）　※秋季での入学、進学、卒業の者を除く ・保護者の世帯年収合計が原則1,000万円以下である　※博士後期課程は世帯年収制限なし ・土木系、建築系、理工系を専攻している	可	5	12	各学部・学院からそれぞれ3名まで	8
50	2月下旬	大学経由	川野小児医学奨学財団	給与	月額70,000円以内	最短修業年限	埼玉県または千葉県の県内の高校を卒業し、小児医学を志す大学生、および小児医学研究に従事している大学院生	可	0	1	各学部・学院等からそれぞれ2名	0

51	1月下旬	大学経由	東京海上各務記念財団	給与	月額50,000円 ※成績優秀者には、給付金額の加算あり。	最短修業年限	以下の全ての要件を満たす者 ・2025年4月時点で、経済、法、工、理、農、文、水産のいずれかの学部に所属する新2年次生 ・学部1年次の合否判定を除いた成績が、「80点以上の履修科目数÷合計履修科目数」の割合80%以上であること ※海外留学支援あり	【貸与奨学金】可 【給付奨学金】 JASSOは可、民間は不可。地方公共団体や大学独自の奨学金は応相談。	2	6	－	3
52	3月下旬	大学経由	日清食品・安藤百福SCHOLARSHIP（安藤スポーツ・食文化振興財団）	給与	年額100万円	1年間	日本国籍を有し、食科学に関連する研究を行う大学院生。 ※留学予定の者は応募不可。	可	3	3	各学院等から2名まで	3
53	2月下旬	個人申請	池田育英会トラスト	給与	月額17,000円	最短修業年限	2025年度において学部2年生以上または大学院生であり、愛媛県内の高等学校を卒業または保護者が愛媛県内に居住している者	可	0	0	－	－
54	3月上旬	大学経由	JEES・MHIみらい奨学金 （三菱重工理系女性技術者育成支援奨学金）	給与	月額12万円	令和7年4月から修士課程修了まで	令和7年4月に修士課程1年次に正規生として在籍する女子学生（私費留学生含む）で、化学、電気・電子、機械、原子力、情報、金属・材料を専攻する者。 ※留学生の場合、在留資格は「留学」であること。	貸与は可。給付は、他団体からの給付合計額が年額60万円未満なら可。	0	0	各学院等から1名まで	1
55	3月上旬	大学経由	旭硝子財団	給与	【修士】月額10万円 【修士課程・修博一貫奨学生(CMD)】月額 10万円（博士課程進学後は、月額 25万円） 【博士】月額12万円	最短修業年限 ※最大で修士は2年間、博士は3年間、修博一貫奨学生(CMD)は5年間	2025年4月現在、修士課程第1学年あるいは博士後期課程第1学年に在籍する日本人学生（医学・歯学・獣医学・6年制薬学系の専攻を除く）	貸与は可。給付については、給付額が月額12万円を超える場合は不可。	1	2	各学院等から修士課程・博士後期課程それぞれ1名まで	4
56	2月下旬	大学経由	サカタ財団	給与	月額70,000円	最短修業年限	2025年4月1日時点で、大学2年生・修士課程1年生・一貫性博士課程（5年生）1年生に在籍する、日本国籍を持つ学生。	JASSOのみ可	0	0	－	－
57	2月下旬	大学経由	住友大阪セメント	貸与（免除有）	月額10万円（上限）	最短修業年限	学部3～4年次、修士課程1～2年次、博士後期課程1～2年次のいずれかに該当し、2026年3月31日に卒業・修了予定であり、対象課程を専攻している者。	可	0	0	－	－
58	3月上旬	大学経由	安田奨学財団	給与	月額10万円	2025年4月～2028年3月	2025年4月に大学2年生に進級した者。 ※外国籍であっても次の ①～③のいずれかに該当するものは申請可能です。 ① 法定特別永住者 ② 在留資格が、「永住者」、「日本人の配偶者等」または「永住者の配偶者等」である人 ③ 在留資格が「定住者」であって、将来永住する意思がある人	JASSOまたは貸与型は可。民間・自治体の給付型は不可	0	1	－	－
59	3月上旬	大学経由	誠志ツルヤ奨学会	給与	月額30,000円	最短修業年限	新学部1年生のうち、長野県及び群馬県出身（長野県及び群馬県内の高等学校卒業かつ実家が長野県及び群馬県内）で、指定学科に挙げる分野で学ぶ学生。	JASSOのみ可	0	0	－	－
60	3月上旬	大学経由	サカタアグリ財団	助成金	年額1,000,000円	2025年4月1日～2026年3月31日（最長5年間）	国内の大学・大学院の研究者（大学院生も含む）で、農園芸業に関連する、下記研究分野に取り組む者 (1)花卉・野菜及び穀類・果樹の植物生理、育種、栽培や生産技術に関する研究 (2)農園芸業を取り巻く気象・土壌・微生物等のエコシステムに関する研究 (3)造園や緑化に関する研究 (4)生化学等から応用派生するバイオケミカルサイエンスに関する研究 (5)農園芸業をキーワードに異分野融合（医学・栄養学・情報学・工学等）による研究 (6)その他の農園芸業に革新をもたらすとされる挑戦的プログラム	可	0	0	－	－
61	3月上旬	大学経由	花王芸術・科学財団（花王佑啓奨学金）	貸与	月額5万円または月額10万円	最短修業年限	①2025年4月に大学院修士課程1年次へ進学することが決定しており、芸術または科学の分野で学ぶ、満30歳以下の日本国籍を有する学生。 ②経済的支援を必要とする者（本人の収入が350万円以下）。但し、配偶者がいる場合は本人と配偶者の合計額が500万円以下	可	0	0	－	－
62	3月上旬	大学経由	Kao Crescent Scholarship（花王女性研究者育成奨学金）	給与	年額400,000円	最短修業年限	2025年4月に大学院博士課程1年次へ進学することが決定しており、「表面の科学」の〈化学・物理分野〉の研究を行っている、満30歳以下の日本国籍を有する女子大学院生（正規学生）。	可	0	0	－	－
63	3月上旬	大学経由	常磐奨学会	貸与	月額35,000円	最短修業年限	福島県いわき市、茨城県北茨城市及びその周辺地域居住者の子弟である学部生	可	0	0	－	－
64	3月上旬	大学経由	tetote教育財団	給与	月額40,000円	最短修業年限	日本国籍を有するとともに、2025年4月1日時点で大学3年次生である25歳以下の者	可	0	0	－	－
65	3月中旬	大学経由	志・建設技術人材育成財団	給与	年額50万円	最短修業年限	兵庫県高校卒業者で、建設系（建築、土木）の学部で学ぶ者で、大学卒業後、兵庫県内の建設系企業・官公庁に就職を希望している者	可	0	0	—	－
66	3月上旬	大学経由	戸部眞紀財団（公募）	給与	【学部学生】月額60,000円、【大学院生】月額70,000円	2025年4月～2027年3月の2年間　※希望者は1年間を限度に延長可能	以下のすべての要件を満たす者 ・2025年4月1日時点で学部3年次以上または大学院生（専門職課程除く）であり、30歳以下の者 ・指定学科に挙げる分野を専攻する者。	可。 ※ フェローシップを含む高額な給付型奨学金との併給の場合は、支給額が半額となる場合があります。	0	5	－	－
67	4月上旬	大学経由	工藤育英会	給与	月額20,000円	最短修業年限	北海道出身の学部生	可	2	2	各学部から2名まで	7
68	3月中旬	大学経由	野崎わかば会	給与	月額30,000円	2年間	2025年4月時点で工学部3年生である者。	可	0	2	－	0
69	3月中旬	大学経由	ENEOS東燃ゼネラル研究奨励・奨学会	給与	月額50,000円	1年間 ※継続可能性あり	2025年4月1日現在、指定大学の工学部3年生または4年生もしくは工学院「修士課程」1年生または2年生に在籍する学生 ※世帯年収が800万円以上の応募者に対しては奨学金が必要な合理的理由の提示を求める ※外国人留学生の場合には、日本語によるコミュニケーションに支障が無く、卒業後も日本経済の発展に貢献することが期待される場合は応募可	可	0	4	工学部・工学院から1名	0
70	3月上旬	大学経由	KIRII財団	給与	月額50,000円（年額600,000円）	令和7年度4月1日～令和9年度3月31日までの2年間	（1）日本国内に居住し、日本国籍を有していること。 （2）日本国内の4年制大学及び修士課程大学院（通信・夜間を除く、以下「大学等」という。）で建築学を専攻し、2025年4月1日時点で大学3年生又は大学院1年生であること。 （3）学業、人物とも優秀であり、勉学に意欲がある者。 （4）学資の支弁が困難と認められる者。 （5）奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者。	貸与のみ可	0	0	－	－
71	2月下旬	大学経由	JEES・太平洋セメント奨学金	給与	月額50,000円	令和7年4月から令和9年3月まで	以下のすべてに該当する者 ・令和7年4月時点で学士課程2年次もしくは3年次に正規生として在籍する者。 ・日本国籍を有する者、または日本への永住を許可されている者。	可	3	5	各学部から2名まで（障がい学生を含む場合、3名まで）	3
72	4月上旬	大学経由	中部奨学会（貸与）	貸与	学部：月額35,000円 修士：月額60,000円	最短修業年限	学部生または大学院修士課程の学生	可	0	2	貸与生：(1)各学部 3名 (2)各学院（研究科）2名	0
73	4月上旬	大学経由	中部奨学会（給与）	給与	学部：月額35,000円 修士：月額60,000円 博士：月額60,000円	最短修業年限	学部生、大学院修士課程または大学院博士課程の学生	可	3	3	支給生：(1)各学部 2名 (2)各学院（研究科）2名 (3)各学院（研究科）3名	10
74	3月中旬	大学経由	佐藤奨学会	給与	学部：月額25,000円、大学院：月額30,500円	最短修業年限	学部生または大学院生であり、学業・人物ともに優秀で、学資の支弁が困難と認められる者。	可	0	2	各学部・学院等からそれぞれ1名	12
75	3月中旬	大学経由	川尻育英奨学金	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下である経済学部3年生	可	0	0	ー	－

76	3月中旬	大学経由	日鉄鉱業奨学会（給与）	給与	月額12万円	2年間	以下のすべての要件を満たす者。 ・日本国籍を有する者 ・2025年度において学部3年次生または大学院修士課程1年次生である者 ・鉱物資源の開発（資源開発工学）、地学・地質・鉱床、物理探査、地熱開発等、機械、電気、土木及び化学のいずれかを専攻している者 ・学資負担者（家計支持者）の年間収入が1,000万円未満である者	貸与（※同奨学会の貸与奨学金除く）は可。給付はJASSOのみ可。	3	5	各学部・各学院からそれぞれ1名まで	3
77	3月中旬	大学経由	SONY STEAM GIRLS EXPERIENCE	給与	授業料相当額（最大120万円/年）	最短終業年限	応募時点で日本国内の大学の理工系及びそれに準ずる学部・学科の1年次もしくは高等専門学校から進学し3年次に在籍し、以下の条件に当てはまる者 (1)日本に居住している (2)性自認もしくは戸籍上の性別が女性 (3)大学に入学以降、奨学金または奨学助成金を受け取ったことがない、もしくは今後受け取る予定がない	不可	0	0	0	－
78	3月中旬	大学経由	日鉄鉱業奨学会（貸与）	貸与	月額30,000円または月額15,000円 ※新入生で希望する者は、入学準備金60,000円も貸与可能	最短修業年限	日本国籍を有する学部生であり、学資負担者（家計支持者）の年間収入が1,400万円未満である者。	可	1	3	各学部から3名まで	1
79	3月下旬	大学経由	アイザワ記念育英財団	給与	【学部】月額30,000円、【大学院】月額45,000円	最短修業年限	人物・学業ともに優れており、将来産業・文化両面において社会に貢献しようと志す学部2年生以上、大学院2年以上の者。 ※留学中または留学予定の者は申請不可。	当該財団以外の1団体より受ける奨学金は可。 ※JASSO奨学金は可	2	3	各学部から1名まで	5
80	4月上旬	大学経由	国土育英会	給与	月額18,000円	最短修業年限	2025年4月時点で正規生として大学・大学院に在学する日本人学生（所属学部、学年等は問わない）	可	0	0	各学部・学院等からそれぞれ1名	7
81	4月上旬	大学経由	いであ環境・文化財団	給与	年額20万円	1回	令和7年4月1日現在、学部2年生以上の者（大学院博士後期課程含む）のうち、将来環境保全分野で社会貢献を目指すための科目を履修している者（GPA2.5以上に限る）。	可	0	0	各学部・学院等から3名まで	6
82	12月上旬	大学経由	大林財団	給与	月額50,000円	最短修業年限まで	以下のすべての要件を満たす者 ・2025年4月1日時点で大学1年生または2年生であり、22歳以下である者 ・就業経験の無い者（アルバイト除く） ・都市に関連ある分野の実業、実務又は学術研究に将来従事しようとする者（学部・専攻は問わない） ・本人の属する世帯の父母（家計支持者）の税込年収の合計が800万円以下の者（退職金等の臨時的な収入は含めない） ・財団の行事に出席できる者	JASSO及び大学の奨学金のみ可	0	1	各学部から2名まで	1
83	3月中旬	大学経由	SMBCコンシューマーファイナンス奨学金	給与	年額15万円	1度のみ	以下の条件を満たす者 ・当該年度の学部3、4年生であること。 ・日本に居住し、経済的支援を必要とすること。 ・金融リテラシー検定（一般社団法人金融財政事情研究会）を受験し、スコアレポートを提出すること。受験していることが条件であり、合否は問わない。 ※金融リテラシー検定受験手数料には3,300円（税込）を要するが、本奨学金の申込の場合、1回限り無料で受験が可能。	可	0	0	－	－
84	3月中旬	大学経由	さくらマネジメントグループ奨学金	給与	月額上限　50,000円	最長5年	税理士資格・公認会計士資格の取得を目指す勉学意欲があり、経済的理由で修学が困難である学部2～4年次及び大学院1～2年次の者。 ※同グループに就職し、奨学金支給期間と同期間勤務することで返還免除となる。	可	0	0	制限なし	0
85	3月中旬	大学経由	鷹野学術振興財団	給与	年額60万円	1年間（2025年8月～2026年7月）	以下のすべての要件を満たす者。 ・2025年4月1日現在、学部1～3次（6年制課程の場合は1～5年次）または大学院修士課程1年次に在籍しており、科学技術関係を専攻している者 ・卒業（修了）後は、製造業への就職を希望していること ・過去に同財団の奨学生に採用されたことのない者 ・外国人（日本国籍を有していない）の場合は、日本後の会話・読み書きに習熟している者	JASSOまたは大学独自の奨学金や授業料免除のみ可	0	0	制限なし	2
86	3月下旬	大学経由	きのした未来奨学金	給与	年額48万円	2年間	経済系学部に在籍する学部3年生で応募締切日時点で年齢25才以下である者。	可	0	1	―	－
87	3月下旬	大学経由	ウシオ財団	給与	月額12万円	最短修業年限	理学院、工学院、総合化学院、環境科学院、情報科学院のいずれかに在籍する大学院生	JASSO貸与型奨学金、または研究に直接関係する経費に限定された研究助成は可。他は不可。	3	6	各学院から2名まで	7
88	3月下旬	大学経由	オークラ育英財団	給与	月額30,000円	2025年4月～2026年3月	出願する年の4月1日現在、日本国内の4年制学部に在学する大学生2年生以上で、原則として年齢が30歳以下である日本国籍の学生	可	0	0	－	－
89	3月下旬	大学経由	岡本教育財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、2025年4月1日時点で25歳以下である経済学部3年生	可	0	0	―	－
90	4月上旬	大学経由	北野財団	給与	月額30,000円	最短修業年限	2025年4月1日時点で学部2～4年生または大学院修士課程に在籍し、指定学科に挙げる分野を学ぶ者。 ※学部生は満23歳以下、大学院生は満28歳以下に限ります。 ※留学生も申請可能です。 ※その他詳細な成績要件・収入要件等は募集要項等を確認してください。	可	0	1	制限なし	2
91	4月上旬	大学経由	竹中育英会（博士）	給与	月額10万円	最短修業年限	以下のすべての要件を満たす者。 ①日本国籍を有し、2026年4月に新たに学位取得を目指して博士課程に進学する者 ②本人が属する世帯の税込み年収の合計が800万円未満の者（目安） ③2025年4月1日現在、修士2年次に在籍する25歳以下の者 ④現在、同財団の奨学生でない者 ※成績基準あり。詳細は募集要項を確認してください。	JASSOは可。民間給付は不可。民間貸与は事前に相談すること。	0	0	－	－
92	3月下旬	大学経由	在日朝鮮人奨学生	給与	【学部1年】 年額16万円、 【学部2年以上】 年額20万円	1年	学部に在籍する在日朝鮮人学生で、成績が優良で、かつ学費支弁が困難な30歳未満の者（国籍不問） ※留学生は不可	貸与のみ可 ※給付はJASSOのみ可	0	0	―	－
93	3月下旬	大学経由	中谷財団	給与	修士課程：月額12万円、 博士後期課程：月額20万円	博士号取得までの最短修業年限（最長5年間または6年間）	BME（Bio Medical Engineering）分野～生命科学と理工学の融合境界領域～において博士号の取得を目指す、日本の大学院（修士課程・博士後期課程、一貫制博士課程）に入学を予定している、または在籍中の、日本国籍または日本の永住権を有する者 ※入学予定者は、2025秋、2026春に大学院入学予定の者	JASSO、公的な奨学金は可。	0	0	－	－
94	4月上旬	大学経由	栗林育英学術財団	給与	学部：月額30,000円 大学院：月額35,000円	最短修業年限	・2025年4月に入学した学部1年次生 ・2025年4月に入学した大学院（修士）1年次生 ・日本国籍を有するもの。	可	3	8	各学院から2名まで	13
95	5月中旬	大学経由	桃谷政次郎記念財団	給与	月額30,000円	2025年4月～2026年3月まで	下記①～③をすべて満たすもの ①日本国内の大学に在学する大学生（2年生以上）及び大学院に在学する大学院生であること ②日本国籍を有すること ③学業、人物ともに優秀であり、経済的理由により就学困難な学生であること	可	0	0	－	0

96	3月上旬	大学経由	吉田育英会マスター21	給与	以下①、②が支給されます。 ①月額8万円または学校納付金（250万円以内で実費支給）のいずれか（採用時に選択） ②海外で開催される国際学会への参加や海外大学への短期留学等をする場合、50万円以内で実費支給	進学後、最大2年間	以下の要件をすべて満たす者。 ・日本国籍を有する者 ・2025年4月1日現在で27歳未満であり、学部4年次に在学中の者 ・2025年秋季または2026年春季に、日本の大学院修士課程または一貫制博士課程への入学を希望する者 ・進学先大学院において自然科学系分野を専攻する者	【国、地方、大学実施の奨学金等】貸与は可。給付は年間支給額が100万円以内であれば可。 【民間実施の奨学金等】貸与・給付ともに不可	0	1	各学部から2名まで	6
97	3月下旬	大学経由	TAKEUCHI育英奨学会	給与	月額60,000円	2年間	機械工学、電気工学、制御工学等の理工系の学生で、2025年4月現在、大学院修士課程1年次または学部2～3年次に在籍する長野県出身の者。	可	0	0	制限なし	2
98	4月下旬	大学経由	似鳥国際奨学財団	給与	月額50,000円 ※優秀者には月額最大30,000円の学習奨励金を追加支給 ※IT人材奨学生には月額30,000円の学習奨励金を追加支給	1年	下記の①～②の項目にすべて該当する者とする。（全ての資格は、2025年10月1日時点） ①国籍：日本国籍を有する人（※外国籍を有する場合でも、在留資格が「永住者」または「定住者」の人は応募可能。） ②年齢・在籍課程・学年： 【学部（4年制）】23歳以下で、学部課程の1～4年生に正規生として在籍予定の者。 【学部（6年制）】23歳以下で、学部課程の1～6年生に正規生として在籍予定の者。ただし、5～6年生のみ25歳以下まで応募可能。 【大学院生】25歳以下で、修士課程1～2年生に正規生として在籍予定の者。	貸与のみ可	0	16	－	－
99	4月上旬	大学経由	小林奨学財団	給与	月額80,000円	最短修業年限	○日本国籍を有し、2025年4月現在、大学および大学院に在籍する者 ○一人親家庭等、経済的支援を必要とする学生	JASSO可、民間のみ不可	0	0	上限なし	－
100	4月上旬	個人申請	日本モバイル建築協会	給与	学部：月額50,000円（1度のみ） 大学院：月額100,000円（1度のみ）	0	論文または自主研究のテーマが、木造モバイル建築（注）に関する技術的・社会制度的課題解決に関する研究および木造モバイル建築を活用した地方創生や応急仮設住宅利用等に関する研究開発であること。	可	0	0	0	－
101	3月下旬	大学経由	フジシール財団	給与	【学部】月額70,000円、【大学院】月額80,000円	最短修業年限	パッケージに関連のある分野を専攻する学部2年生・学部3年生・修士課程1年生・博士後期課程1年生。 ※分野の専攻については、募集要項を確認してください。	貸与可、給付はJASSO・地方自治体のみ可	0	0	上限なし	0
102	4月上旬	大学経由	辰野環境財団	給与	月額30,000円	最短修業年限	将来、地球環境問題解決に寄与し、社会貢献を目指す3年生。 ※外国人留学生の応募も可能	可	0	2	上限なし	1
103	1月下旬	大学経由	江間忠・木材振興財団	給与	月額20,000円	最短修業年限	学部生又は大学院生（修士課程）で森林・木材学分野を専攻している者	貸与、JASSO給付、地方公共団体給付奨学金等は可。	1	1	各学部・学院等からそれぞれ1名まで	1
104	4月上旬	大学経由	和田育英奨学金	給与	年額48万円	2年間	学部3年生で、応募締切日時点で年齢25才以下である日本国籍の者。	可	0	0	－	－
105	4月上旬	大学経由	JEES・出光興産（潤滑技術）奨学金	給与	月額80,000円	令和7年4月から在籍課程の修了まで	令和7年4月現在、修士課程（1～2年次）、博士後期課程（1年次）、一貫性博士課程（1～3年次）に正規生として在籍し、トライボロジー研究に積極的に取り組んでいる日本国籍の者。	貸与のみ可	0	0	各学院から1名まで	0
106	4月中旬	大学経由	アキレス育英会	貸与	自宅通学者　月額30,000円 自宅外通学者　月額40,000円	最短修業年限	学術優秀、品行方正でありながら、経済的理由により学費の支弁が困難な学部新一年生。	可	0	1	制限なし	0
107	4月上旬	大学経由	ベターホーム奨学金	給与	月額30,000円	最短修業年限	2025年4月1日現在で、4年制課程の学部2年生（22歳未満）	可	1	1	1名	1
108	3月上旬	大学経由	野田育英財団	給与	年額72万円	最短修業年限	以下の条件を満たすもの ・経済学、経営学分野の勉学に励む学部2年生であること ・申請時に満25歳未満であること ・日本国籍を有する者 ・2024年の世帯収入が（課税前）900万円以下である者	JASSOのみ可	0	0	学部から5名まで	0
109	5月上旬	大学経由	加藤学育英財団	給与	月額40,000円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下の化学系学部に在籍する学部3年生	可	0	0	－	－
110	4月下旬	大学経由	オークネット財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下である経済学部または工学部3年生	可	0	0	ー	－
111	4月中旬	大学経由	大成学術財団	給与	月額60,000円	2025年4月より最長2028年3月迄	以下の要件を満たすもの ・申請する年度の4月現在、建築、土木、都市開発等、建設に関係する学問を選考している又は希望している大学2年次に在籍するもの ・前年度までの成績が、GPA(Grade Point Average)が、3.00以上のもの ・家計支持者の収入が800万円以下　※場合によっては世帯構成、通学形態、家庭の事情等を勘案することがあります。	可	0	0	各学部から1名まで	0
112	4月上旬	大学経由	清水育英会	給与	月額50,000円	最短修業年限	建築、土木又は都市計画等を専攻する学部2～4年次生、修士課程生。募集年度の4月1日時点で学部生は満23歳以下、大学院生は満33歳以下、留学生学部生は満31歳以下、留学生大学院生は満38歳以下であること。成績要件及び収入要件については募集要項を確認のこと。	可	1	2	上限なし	3
113	5月中旬	大学経由	小笠原アカデミー教育振興財団	貸与	25,000	最短修業年限	道南（渡島・檜山）地方の住民の子女である学部生及び大学院生	可	0	0	ー	0
114	5月上旬	大学経由	森山育英奨学金	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下である経済学部3年生	可	0	0	ー	－
115	5月上旬	大学経由	LPC Foundation	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下の経済系学部に在籍する学部3年生	可	0	0	－	－
116	4月上旬	大学経由	山田満育英会奨学金	給与	月額40,000円	1年	・国内の大学・大学院に在籍し、理学・工学・情報学・医学（医用工学）の分野で修学しており、医工系の技術開発職または技術開発に関する研究職を目指す者。 ・世帯の合計収入が、給与所得者なら900万円以下、給与所得以外なら416万円以下である者。	可	1	1	各学部・学院等からそれぞれ1名まで	5
117	5月上旬	大学経由	深川真マリモ奨学財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下の経済系学部に在籍する学部3年生	可	0	0	－	－
118	4月上旬	大学経由	三菱UFJ信託奨学財団	給与	学部　50,000 大学院　70,000	最短修業年限	以下のいずれかに該当する者。 ・法、経済、工、理、農のいずれかの学部に在籍する2年次生で原則満23歳以下の者 ・法学、経済学、工学、理学、農学、情報科学、環境科学、総合化学、法科、公共政策、会計のいずれかの学院等に在籍する修士課程1年次または博士課程1年次（法科大学院の場合は2年次も可）で原則満33歳以下の者（社会人入学者を除く） ※日本人については、父母の税込年収合計1,000万円未満。	可。ただし学振・本学フェローシップ制度との併給は要事前相談。	5	10	各学部2名・大学院から1名	10
119	4月上旬	大学経由	春秋育英会	給与	月額30,000円	最短修業年限	学部生（卒業時の年齢が26歳を超えないもの）、修士課程生（卒業時の年齢が30歳を超えないもの）、博士（後期）課程生（卒業時の年齢が32歳を超えないもの）。原則、保護者の年収800万円以下。日本在住の所定の保証人が得られるもの。 ※外国人留学生は申請不可。	可	5	14	各学部・学院からそれぞれ1名まで	15
120	4月中旬	大学経由	日揮・実吉奨学会	給与	年額40万円	1年	日本国籍で、募集年度4月2日時点で4年制学部の大学生23歳以下、6年制学部の大学生25歳以下、修士課程の25歳以下、博士課程の26歳以下である理系学部生及び大学院生（理系とは、工学、理工学、理学、水産、農学、獣医学、医学、歯学、薬学等を含む）。 ※日本学術振興会特別研究員採用者・本会の奨学金を過去に受給した者は除く	可	7	7	各学部・学院等からそれぞれ2名まで	21
121	4月中旬	大学経由	中村積善会給費奨学生	給与	月額50,000円	最短修業年限	出願時の年度末時点（2026年3月）の年齢が40才を超えない学部生、大学院生 ※留学生は私費留学生に限り申請可能	可	2	12	各学部・学院等からそれぞれ1名	21
122	4月中旬	大学経由	広智奨学会	給与	月額30,000円	最短修業年限	日本国内の大学の理工系学部に在籍する大学2年生～4年生である日本国籍を有する学生。	可	0	0	上限なし	1
123	4月下旬	大学経由	トヨタ女性技術者育成基金	貸与（免除有）	年額60万円	最短修業年限（大学院に進学した場合は最長6年）	理工学系を専攻し、4月現在学部1年生、学部3年生に在学する女子学生。 大学院生は、修士1年生が対象。 ※学部1年生の総合入試合格者は対象外	可	0	0	－	－

124	4月中旬	大学経由	JEES・日本語教育普及奨学金	給与	月額50,000円	令和7年4月から令和9年3月まで	次の各号の全てに該当する者。 (1) 令和7年4月に日本の大学の学士課程、又は修士課程(博士前期課程及び一貫制博士課程の1～2年次を含む)、又は博士課程(博士後期課程及び一貫制博士課程の3年次以上を含む)に正規生として在籍し、日本語指導者等を目指す者。 (2) 日本国籍を有する者、日本への永住を許可されている者、及び私費外国人留学生。なお、私費外国人留学生の場合、日本に在留する間の在留資格は「留学」であること。 (3) 当該協会が令和6年度に実施した日本語教育能力検定試験に合格した者。 (4) 採用された場合の受給期間が令和7年4月から1年以上ある者。	貸与型、JASSO給付は可。給付は、当該奨学金受給期間中に他団体からの給付合計額が60万円未満なら可。 ※当該協会が実施する奨学金は不可。	0	1	各学部・学院等からそれぞれ2名まで	0
125	4月上旬	大学経由	センコーみらい財団	給与	月額50,000円、入学一時金400,000円	最短修業年限	2025年4月現在で学部の1年生で、国の就学支援金受給資格者、4年制の学部・学科であること（6年制の学部・学科は除く）、自宅外生	不可。ただし文部科学省の「高等教育の修学支援新制度」のみ可	0	0	－	－
126	4月中旬	大学経由	杉村先生記念奨学財団	貸与	自宅通学：月額20,000円 自宅外通学：月額25,000円	最短修業年限	大学に在学している学生であり(大学院を含む)、経済的な理由により修学困難な事情がある者	―	0	0	－	－
127	4月下旬	大学経由	戸田育英財団	給与	月額37,000円	最短修業年限	以下の条件を満たす者。 ・学部1年～2年に在籍する日本人学生（すでに留年している者は除く） ・1年は高校評定平均値が4.00以上、2年は学部1年の成績がGPA3.00以上 ・就業経験のない方	可	2	3	各学部から1名まで	3
128	3月中旬	大学経由	カナモト財団	給与	月額40,000円	2025年4月から2年間	2025年4月時点で、学部3年生または修士・専門職課程1年次の者。 ※6年制課程の学部については3年生と5年生が対象となります。	可	2	3	各学部・学院からそれぞれ1名ま	12
129	5月中旬	大学経由	味の素奨学会	貸与	学部生 （自宅）月額30,000円 （自宅外）月額35,000円 大学院生 （自宅）月額40,000円 （自宅外）月額45,000円	最短修業年限	理系全般の学科を専攻する学部3年次以上及び大学院生	可	1	1	上限なし	1
130	5月上旬	大学経由	上條育英財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下である経済学部3年生	可	0	1	―	－
131	5月下旬	大学経由	山田育英会	給与	月額20,000円	最短修業年限	学部1年次生（外国人留学生含む）	可	2	12	－	2
132	5月下旬	大学経由	和佐見丸和財団（学業奨学生）	給与	2ヶ月ごとに10万円	2025年10月～2027年3月（18ヶ月間）	2025年4月時点で学部2年生であり、物流、流通経済、ロジスティクス、サプライチェーン及びこれらに関連する専門分野に興味を持ち、大学において同分野を学んでいるまたは今後学ぶ意思を有している者。	可	0	0	制限なし	0
133	4月下旬	大学経由	浜教育財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下の教育学部に在籍する学部3年生	可	0	0	－	－
134	4月下旬	大学経由	ケイズハウス財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下である経済学部3年生	可	0	0	－	－
135	5月上旬	大学経由	古宮誠一記念教育財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下の理工系学部に在籍する学部3年生	可	0	0	－	－
136	5月中旬	大学経由	神保育英奨学金	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下である工学部3年生	可	0	1	―	－
137	4月下旬	大学経由	藤岡記念教育財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下の経済系学部に在籍する学部3年生	可	0	0	－	－
138	5月中旬	大学経由	青木仁志奨学金	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、経済系学部に在籍する学部3年生で応募締切日時点で年齢25才以下である者。	可	0	0	―	－
139	5月下旬	大学経由	和佐見丸和財団（スポーツ活動奨学生）	給与	30万円	一度のみ	以下の条件を全て満たす必要があります（個人、団体競技は問いません）。 （1）大学公認の運動部に在籍し、スポーツ技能の向上に向け日々積極的に研鑽に励んでいる大学1年生から大学3年生（応募時点）までの者 （2）所属大学のスポーツ指導者からの推薦を受けることができる者 （3）国内大会で入賞以上の成績を収めた者	可	0	0	制限なし	0
140	5月中旬	大学経由	久保育英奨学金	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、2025年4月1日時点で25歳以下である法学部3年生	可	0	0	―	－
141	5月下旬	大学経由	川村育英会	給与	学部生　月額40,000円 大学院生　月額70,000円	2025年8月～最短修業年限	○指定学科を専攻する大学院修士課程1年次生及び学部2年次生（6年制学部在籍の者を除く） ○父母及び生計を一にする家族の年収が500万円以下（祖父母の年金収入は除く） ○成績証明書記載の学業成績に占める、80点以上の成績評価の割合が50%以上	可	1	2	各学部・学院等からそれぞれ1名まで	－
142	5月上旬	大学経由	TOKAIグループ富士山育英財団	給与	月額50,000円	1年	2025年度に日本国内の大学に在学中である大学生、又は、大学院生。 経済的支援を必要とし、心身共に健康で、成績優秀な学生、学校推薦をうけたもの。	可	0	0	－	－
143	4月下旬	大学経由	バロック村井博之財団	給与	年額40万円	1年	日本人学部生及び外国人留学生（大学院生は対象外）	貸与のみ可	0	0	－	－
144	5月中旬	大学経由	中島洋三記念化学振興財団	給与	年額48万円	2年間	化学科（その他これに類するもの）に在籍する学部3年生で応募締切日時点で年齢25才以下である者。	可	0	0	―	－
145	5月上旬	大学経由	あしなが育英会	貸与	一般　月額40,000円 特別　月額50,000円	最短修業年限	保護者が病気・災害・自死などで死亡、または著しい障害を負い学資の支弁が困難である学生（25歳未満の学部生）	可	0	7	－	－
146	5月中旬	大学経由	TCB財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下の看護学科に在籍する学部3年生	可	0	0	－	－
147	5月中旬	大学経由	木原財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下の理工系学部に在籍する学部3年生	可	0	1	－	－
148	5月下旬	大学経由	大森昌三記念財団	給与	月額30,000円	最短修業年限	○出願する年の4月現在、学部2年次以上または大学院修士課程・博士後期課程に在籍し、もの作りに関する知識・技術について修学している者。 ※ 出願する年の4月2日現在、学部生は満23歳以下、修士生は満26歳以下、博士後期課程満33歳以下であること。 ○成績証明書で80点以上を取得した単位数の合計比率が全体の80%以上であること。	可	0	1	上限なし	1
149	5月中旬	大学経由	杉山育英財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下である経済学部3年生	可	0	0	―	－
150	5月中旬	大学経由	野村芳光財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下である経済学部3年生	可	0	0	－	－
151	4月上旬	大学経由	森記念奨学金	給与	月額50,000円	1年間	本国内の大学及び大学院に在学している者であり、食品科学に関する分野を専攻・研究している者（今後、食品科学分野を目指す者も対象となる）	可。ただし選考過程での判断材料となる場合あり。	2	2	各学部・学院等からそれぞれ2名まで	5
152	1月下旬	大学経由	Sky大浦ICT奨学財団	給与	年額200万円	最短修業年限	次に掲げる要件をすべて満たす者 (1)ICT技術の分野に就業することを志す者 (2)学業・人物共に優秀であると認められる者 (3)経済的な理由により修学が困難であると認められる者 ※経済状況については、申請者と同一生計の家族全員の所得金額（課税明細書等に記載の所得金額）の合計額が年800万円以下である必要があります。 (4)2025年4月1日現在で30歳以下の者（留学生は不可）	可	3	6	各学部・学院等からそれぞれ1名まで	6
153	5月下旬	大学経由	山村章奨学財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、工学系学部に在籍する学部3年生であり、募集年度4月1日時点で25歳以下である者。	可	0	0	―	－
154	5月下旬	大学経由	谷育英財団	給付	年額48万円	2年間	以下の(1)～(5)のすべてに該当すること。 (1) 日本国籍を有すること (2) 国内の大学の理工系学部※に在籍する学部3年生であること (3) 応募締切日時点で年齢25才以下であること (4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること ※理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの（例：情報工学部、創造工学部、理工学群、応用理工学類、応用物理主専攻）	可	0	0	－	－
155	5月下旬	大学経由	柳川育英財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、国内の大学の医学部医学科に在籍し、応募締切日時点で25歳以下である学部5年生。	可	0	0	－	－

156	5月下旬	大学経由	ひよこ奨学財団	給与	月額30,000円	最短修業年限（最長3年間）	薬学部、理学部、工学部、農学部、水産学部のいずれかに在籍し、自然科学や環境技術等の分野を学んでいる（学ぼうとしている）学部2年生。	可　※ただし、選考においては他の給付型奨学金の受給がない学生を優遇。	0	1	上限なし	2
157	4月上旬	大学経由	樫山奨学財団	給与	月額60,000円	4年間	2025年度に入学した学部1年次生。 ※6年制課程の学部・学科の在籍者も応募可能。ただし支給期間は4年間となります。 ※大学を卒業し、再び入学した者は応募不可。	他の民間財団奨学金とは不可。ただし、日本学生支援機構の第3・4区分の給付・貸与は可。第1・2区分の給付のみは不可。学内奨学金や地方公共団体奨学金は給付・貸与共に可。	1	2	ー	4
158	5月下旬	大学経由	原・フルタイムシステム科学技術振興財団	給与	月額40,000円	学部生・修士課程：2年、博士後期課程：3年	学業成績優秀・品行方正であるにもかかわらず、経済的な理由で学費の支弁が困難と認められる工学系の学部3年次又は修士1年次または博士後期課程1年次生。日本国籍を有し募集年度4月1日時点で30才以下であること。	可	0	1	ー	－
159	4月下旬	大学経由	フジタ奨学金	給与	年額50万円	2年間	2025年4月に学部3年生に進級した、または、大学院修士課程に進学した者で、日本国籍を有し、成績優秀かつ、就学上経済的に困難な者（世帯年収合計800万円未満）	JASSOは可。	0	0	－	－
160	12月上旬	大学経由	エス・シー・ビー育英会	貸与（免除有）	【学部】月額30,000円、【大学院】月額50,000円	最短修業年限	日本国籍を有し、2025年4月1日現在、学部3年・4年・大学院に在学するとともに、化学（応用化学、物質科学、天然物化学、材料科学、電気物理物質学、生物学、薬学、農芸化学等）に関わる研究内容を専攻している者	可	0	1	制限なし	0
161	8月上旬	大学経由	JEES・住友金属鉱山地域貢献奨学金	給与	月額10万円	令和7年4月から学士課程の修了まで（同一大学の上位課程に進学する場合は修士課程の修了まで）	次の各号の全てに該当する者。 (1) 令和7年4月に当該協会が指定する日本国内の大学（以下「大学」という）の学士課程1年次又は2年次に正規生として在籍する者。 (2) 日本国籍を有する者、又は日本への永住を許可されている者。 (3) 東京都多摩地域※、兵庫県播磨地域※※、愛媛県、鹿児島県の持続的発展に貢献する意欲がある者。 ※東京都のうち都区部と島嶼部（伊豆諸島・小笠原諸島）を除いた市町村部 ※※兵庫県のうち神戸・阪神地域、但馬地域、丹波地域、淡路地域を除いた市町	可	0	1	各学部から3名まで	0
162	5月下旬	大学経由	静岡県立病院機構看護師修学資金貸与制度	貸与（免除有）	月額50,000円	最短修業年限	看護又は助産を専攻しており、卒業後に静岡県立病院機構で看護師又は助産師として勤務を希望するもの	静岡県立病院機構に確認すること	0	0	－	－
163	9月上旬	大学経由	北海道信用金庫奨学財団	給与	修学支援一時金　10万円	1回	2025年4月に大学に入学した学部1年生で、ひとり親家庭または両親のいない家庭等の子女であり、経済的理由により就学困難な状況にある者。	可	4	4	－	5
164	5月下旬	大学経由	いやさか財団	給与	年額48万円	2年間	当該年度の4月1日時点で年齢が満30才未満であり、理工系研究科に在籍する修士課程1年次生。	可	0	5	ー	－
165	5月下旬	大学経由	交通遺児育英会	貸与	【学部】月額40,000、50,000、60,000円 【大学院】月額50,000、80,000、100,000円 ※ともに2万円分は給付	最短修業年限	保護者等が交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な応募時点で25歳以下の学生	可	0	1	－	－
166	5月下旬	大学経由	加瀬不動産活用振興財団	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下の経済系学部に在籍する学部3年生	可	0	0	－	－
167	随時募集	大学経由	大学生協学業継続奨学制度（たすけあい奨学制度）	給与	100,000	1回	扶養者が死亡し、学業継続が経済的に困難である大学生または大学院生。 ※原則として、扶養者の死亡から6ヶ月以内の応募であること。	可	0	0	0	－
168	5月下旬	大学経由	学校法人日本財団ドワンゴ学園	給与	奨励金A：年間最大　28万円 奨励金B：年間最大100万円 奨励金C：年間最大250万円	1年	・2025年4月1日時点で満30歳以下 ・大学・大学院・研究機関等、何らかの教育／研究機関に所属していること。 ・都内近郊での対面型のイベントを実施する場合もありますので、必要に応じてそちらに参加可能な方 ・本プログラムの活動は日本語を基本とするため、日本語でのコミュニケーションが可能な方。	可	0	0	－	－
169	6月上旬	大学経由	ANRI人文奨学金	助成金	50万円（9月に一括支給）	1年	・人文系分野の研究に取り組む35歳以下（2025年6月30日時点）の大学院生、ポスドク、学部生、フリーランスの研究者。国籍や所属は問いません。 ・狭義の人文学に限らず、政治学や社会学、経済学、その他融合領域なども含めて、広く人文社会系の研究が対象です。 ・2025年9月上旬に開催予定の交流会に参加可能であること。 ・ANRIの媒体（ポッドキャストやweb記事、ZINEなど）を通して、研究成果を発信していただけること。	可	0	0	－	－
170	6月上旬	大学経由	天野工業技術研究所	給与	年額180万円	1年次から3年次修了までの3年間	・日本国内の理工学系大学院の後期博士課程1年次に在籍する者。ただし、外国籍の場合は、「外国籍在留資格」及び「日本語能力試験(JLPT)のN1」の資格を有する者。・年齢が、2025年度末で満26歳以下の者。・人物・学術ともに優れ、健康であり、学資の支援が必要と認められる者 ・工業技術の発展に向け、機械・精密機械、電気・電子材料、化学、環境・エネルギー分野の研究に意欲的に取り組む者	年額65万円以下の奨学金であれば可。※ただし、単独受給を優先。	0	0	－	－
171	6月下旬	大学経由	JEES・田辺三菱製薬医学・薬学奨学金	給与	月額15万円	令和7年4月から学士課程の修了まで	次の各号の全てに該当する者。 (1) 令和7年4月に当該協会が指定する日本国内の大学(以下「大学」という)の学士課程に正規生として在籍する者。 (2) 日本国籍を有する者、日本への永住を許可されている者又は私費外国人留学生(日本に在留中の在留資格は「留学」であること)。 (3) 医学部又は薬学部に在籍する者。 (4) 当該奨学金の受給期間中、当該協会が実施する他の奨学金を受給せず、他の団体から受ける奨学金等の受給額合計が年額600,000円(月額50,000円相当)以下である者。[貸与型(返済が必要なもの)奨学金(返済免除規程があるものを含む)、学費免除、国の高等教育修学支援新制度は除く] (5) 心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。	給付の合計額が月額5万未満なら可。貸与は金額に関わらず可。	0	2	各学部から1名まで	3
172	6月中旬	大学経由	唐神基金	給与	年額24万円	2025年4月から1年間	①該当年度の4月時点で学士課程1～4年の正規生として在学する者 ※「留年」、「修士」、「博士」は応募対象外。 ※外国人留学生も申請可能。 ②学業・人物ともに優秀かつ心身ともに健康である者 ③令和6年の同一生計の世帯総収入が600万円以下である者 ④観光業・若しくは旅館・ホテル宿泊業に興味があり、自分なりの提案を持っている者	可	0	0	上限なし	0
173	7月上旬	大学経由	大学女性協会	給与	【一般奨学生】 30万円 【社会福祉奨学生】 学部20万円，大学院30万円 【安井医学奨学生】 30万円 ※すべて年額，1回限りの支給。	1年（1回）	大学（1年以上在籍している）または大学院に在籍している女子学生であり、以下の部門ごとの応募資格を満たしている者。 【一般奨学生】大学院生 【社会福祉奨学生】身体に障害のある学部生または大学院生 【安井医学奨学生】医学・歯学・薬学専攻の大学院生	可	1	1	各学部・学院等からそれぞれ1名 ※ 上記3部門に各1名推薦可能です。	2
174	7月上旬	大学経由	正林真之記念奨学金	給与	年額48万円	2年間	日本国籍を有し、応募締切日時点で25歳以下の理工系学部に在籍する学部3年生 ※理工系学部とは、理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの（例：情報理工学部、創造工学部、理工学群　応用理工学類　応用物理主専攻）	可	0	0	－	－
175	7月上旬	個人申請	東京弁護士会育英財団（貸与）	貸与	【自宅生】法科大学院生月額50,000円，大学生・大学院生月額35,000円、 【自宅外生】法科大学院生月額70,000円，大学生・大学院生月額50,000円	最短修業年限	学術優秀かつ品行方正でありながら経済的事由により修学が困難な学生	可	0	0	－	－

176	7月中旬	大学経由	クロサワ育成財団	給与	年間36万円	最短修業年限	日本国内に居住する大学生または大学院生であり、2026年3月卒業見込でない者。ただし、2026年3月卒業見込の者のうち、大学院へ進学する者（または進学を希望する者）は対象とする。	可	0	0	－	－
177	8月上旬	大学経由	JEES・アイ・システム女性デジタル人材育成奨学金	給付	月額100,000円	令和7年4月より修士（博士前期）課程の修了まで（最長2年間）	次の各号の全てに該当する者。 (1) 令和7年4月に本協会が指定する日本国内の大学(以下「大学」という。)の修士(博士前期)課程に正規生として在籍する女子学生。 (2) 日本国籍を有する者又は日本への永住を許可されている者。 (3) 情報処理及びこれに関連する分野を専攻する者。 (4) 修士(博士前期)課程修了後、日本の情報処理関連企業に就職する意欲のある者。 (5) 本奨学金の支給期間中、本協会が実施する他の奨学金を受給せず、他の団体から受ける奨学金等の受給額合計が年額600,000円（月額50,000円相当）以下である者。[貸与型奨学金(返済が必要なもの)、学費免除は除く。] (6) 修学の目的又は計画が明確で、支援の効果が期待できる者。 (7) 経済的援助を必要とする者。 (8) 令和7年4月に在籍する大学の長の推薦を受けることができる者。	可。ただし、他団体から受ける給付合計額が年60万円を超えないこと（貸与型、学費免除等は金額に含まない）	0	0	各学院から1名まで	0
178	7月下旬	大学経由	ジェイリース奨学基金	給付	年間60万円	1年	身体障害者手帳（視覚障害1～6級）が交付されている、または視覚に障害があることを証明する医師の診断書が提出可能で、以下4つのいずれかに該当する方。 1.視覚障がい者を対象とした職業訓練機関等に在籍中の方 2.盲学校（視覚特別支援学校）の専攻科に在学中の方 3.国内の大学の大学生ならびに大学院生、短大生の方 4.高等学校(盲学校高等部含む)3年生の内、卒業直後に訓練機関、盲学校専攻科及び国内の大学等いずれかへの進路を希望している方	行政や役所、JASSO（独立行政法人日本学生支援機構）等のみ併給可。	0	0	－	－
179	8月上旬	大学経由	黒木育英奨学金（KUROKI FOUNDATION）	給付	年額48万円	2年間	以下の(1)～(6)のすべてに該当すること。 (1) 日本国籍を有すること (2) 両親または片親がいない世帯に属していること (3) 国内の大学に在籍する学部3 年生であること (4) 応募締切日時点で年齢25 才以下であること (5) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること (6) 就学状況及び生活状況について適時報告できること	可	0	0	－	0
180	7月中旬	大学経由	NSKナカニシ財団	給与	大学生　60,000円 大学院生　100,000円 （R3年度のみ緊急支援金50万円を追加支給）	最短修業年限	歯学部4～6年生または歯学系研究科の大学院1年生（家計収入による制限あり）。	可	0	0	0	－
181	9月中旬	大学経由	金子歯科医院（貸与奨学金）	貸与	◆歯科医師：年額80万円まで（大学/大学院） ◆歯科衛生士：年額60万円まで（大学/大学院） ◆歯科技工士：年額60万円まで（大学/大学院）	最短修業年限	歯学部、歯科大学および歯科衛生士・歯科技工士養成学校に通学中または入学、卒業見込の方で、卒業後に金子歯科医院での勤務を希望する方。	歯科医師の場合、奨学金返還支援（代理返還）を受ける場合、大学と大学院の併用はできません。その他、金子歯科医院に問い合わせ（0261-23-2200）	0	0	－	－
182	9月中旬	大学経由	金子歯科医院（返還支援）	助成金	◆歯科医師：年額80万円まで（大学/大学院） ◆歯科衛生士：年額60万円まで（大学/大学院） ◆歯科技工士：年額60万円まで（大学/大学院）	最短修業年限	歯学部、歯科大学および歯科衛生士・歯科技工士養成学校に通学中または入学、卒業見込の方で、卒業後に金子歯科医院での勤務を希望する方。	歯科医師の場合、奨学金返還支援（代理返還）を受ける場合、大学と大学院の併用はできません。その他、金子歯科医院に問い合わせ（0261-23-2200）	0	0	－	－
183	9月上旬	大学経由	札幌Ⅱゾンタクラブ	給付	10万円	1回	北海道大学大学院在籍中の日本人女子大学院生で、海外で開催される国際学会に出席される方。	要相談	1	0	－	1
184	9月中旬	大学経由	田中孝典記念教育財団	給付	年額48万円	2年間（学部3年次・4年次）	以下の(1)～(5)のすべてに該当すること。 (1) 日本国籍を有すること (2) 国内の大学の理工系学部※に在籍する学部3年生であること (3) 応募締切日時点で年齢25才以下であること (4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること ※ 理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの（例：情報理工学部、創造工学部、理工学群 応用理工学類 応用物理主専攻）	可	0	0	－	－
185	9月中旬	大学経由	ANRI未解の知	給付	50万円（1回のみ）	1回	・数学や物理学、生物学、化学などの分野において優秀な成績を収めた学生 ・2026年9月以降の卒業予定者	要相談	0	0	－	－
186	9月中旬	個人申請	吉川徹財団	給与	月額30,000円	2025年10月から1年間	応募時点で日本国内の大学に在籍し、下記の条件に該当する方 ①将来ITエンジニアまたはWEBデザイナーとしてキャリアを築くことを希望としている勉学意欲があり優秀な大学生 ②応募時点で学部1～3年生の方 ③日本国内の4年制大学　※学部は理系・文系を問いません ④応募締切日時点で年齢25才以下であること	可	0	0	－	－
187	9月中旬	大学経由	首藤奨学財団	給与	年額70万円	1度のみ	本人、又は保護者が引き続き神奈川県内に居住しているもので、国内の大学医学部の学士課程、大学院医学研究科修士課程、又は博士課程で正規生として在学のもの。	可	0	0	各学部・学院からそれぞれ1名ま	0
188	10月上旬	大学経由	タクト奨学金	給与	20万円	1回	以下のすべてを満たす者。 ・税理士試験に2科目以上合格している、または公認会計士試験を1回以上受験したことがある者 ・世帯年収が、給与所得者で700万円以内（収入金額）、給与所得者以外で350万円以内（所得金額）である者 ・25歳以下である者	可	0	0	－	－
189	10月下旬	大学経由	先端教育振興機構	給付	年額48万円	2年間	以下の(1)～(6)のすべてに該当すること。 (1) 日本国籍を有すること (2) 専門職大学院に進学した新1 年生であること (3) 2 年制以上の課程に学ぶ者であること (4) 応募締切日時点で年齢35 才以下であること (5) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること (6) 就学状況及び生活状況について適時報告できること	可	0	0	－	－

190	10月下旬	大学経由	イオンスカラシップ	給付	授業料相当額（最大150万円/年）	1年半（2025.10～2027.03）	【資格】 (1) 日本の国籍を有すること (2) 大学学部に在籍する正規生であり、学部1年生、2年生、3年生または修士1年生であること (3) 国際関係や外国語および情報・技術関係を学ぶ学部・研究科に所属していること (4) 他の給付型奨学金を受ける予定がないこと（渡航費助成、入学金助成等は奨学金にあたりません） (5) 心身ともに健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀であること (6) 2025年10月31日現在、30歳以下であること 【要件】 (1) 家計基準の目安は、独立行政法人日本学生支援機構学部生向け第一種奨学金の家計基準「収入・所得の上限額の目安」を上回らないこと (2) 小売業・サービス業・金融業・デベロッパー・農業・IT・環境の分野に貢献したいこと	不可	1	1	－	1
191	11月中旬	大学経由	生涯学習開発財団	給与	500,000	1回	以下の条件を満たすもの。 ・満50歳以上の方（2025年12月31日時点） ・日本国内在住者（国籍は問いません） ・日本国内の大学で博士課程在籍者、もしくは論文博士号取得希望者 ・当財団Webサイトおよび広報媒体にて氏名・年齢・写真・研究タイトル・論文要旨などの公開を了承し、インタビュー取材に応じる者 ・授与式に出席を了承する者（2026年3月開催予定）	―	0	0	－	－
192	11月下旬	大学経由	鎌田記念財団	給付	年額36万円	1年間	当財団の奨学生となるものは物流・ロジスティクスを学ぶ四年制大学生および大学院生であり、次のいずれにも該当しなければならない。 （1）日本国籍を有し、学資の援助をすることが必要であると認められる者 （2）将来社会的に有益な活動を目指す者 （3）学業成績が優秀であること（下記に該当すること） ・在校生の場合、大学・専門学校入学時から直近までの学業成績において、GPA(平均成績)が2.4以上であること ・新入生の場合、高等学校等における評定平均が3.5以上であること ・高等学校卒業程度認定試験の合格者であること （4）下記のような物流・ロジスティクスに関する科目を履修できる学部・学科に在籍していること ●主な物流・ロジスティクス関連の科目 Dロジスティクス特殊研究講義、IoTロジスティクス実践講座、Mロジスティクス研究１・２ 演習、Mロジスティクス研究１・２講義、SCM論（サプライチェーンマネジメント論）、グローバル・ロジスティクスⅠ・Ⅱ、グローバルロジスティクスと海運、グローバルロジスティクスと貿易、グローバルロジスティクス論12、サプライチェイン・マネジメント特論 など	可	0	0	－	－
193	11月中旬	大学経由	昭和池田賞	給与	昭和池田賞：賞金100万円と年額54万円の給付奨学金、 優秀賞：賞金30万円と年額54万円の給付奨学金、 努力賞：記念品、	奨学金は最短修業年限	大学・大学院に在籍する学生	可	0	0	－	－
194	－	大学経由	井上育英会	貸与	自宅　28,000 自宅外　30,000	最短修業年限	学部2年次生	可	6	20	0	6
195	－	個人申請	木下記念事業団	給与	年額　720,000	最短修業年限	※高校予約 兵庫県内の指定学校在学者	―	0	2	－	－
196	－	大学経由	コカ・コーラ教育・環境財団(大学生)	給与	40,000	最短修業年限	2021年度に修士課程へ進学予定の者	―	0	1	0	－
197	－	大学経由	伊藤謝恩育英財団	給与	月額60,000円	4年	日本の高等学校の3年に在学し、2015年に指定大学へ入学することを目指す満19歳未満の者（留学経験者は満20歳未満） ※6年制学部学科はのぞく	―	0	4	0	－
198	－	大学経由	河内奨学財団	給与	50,000	最短修業年限	学部1年次生	―	0	4	0	－
199	－	大学経由	広沢育英会	給与	30,000	最短修業年限	令和4年4月現在、茨城県内に設置されている高等学校をを卒業し、大学等に在学する学生であって、経済的理由により就学が困難で、思想穏健にして生活態度の真面目な者。	－	0	1	0	－
200	－	大学経由	鴻池奨学財団	給与	月額24,000円	最短修業年限	学部2～4年生または大学院に在学する者。	可	0	1	各学部・学院等からそれぞれ1名まで	0
201	－	大学経由	山岡育英会	給与	月額60,000円	最短修業年限	令和5年4月現在、工学院、農学院または国際食資源学院に在籍する修士1年次生	可	0	4	0	0
202	－	大学経由	山田育英会（公募）	給与	学部生　20,000 大学院生　25,000	最短修業年限	当該年度に入学した大学生または大学院生で、志操堅実、学業成績優秀、身体強健でかつ、経済的理由により就学が困難な者。	可	0	1	0	－
203	－	大学経由	森下育英会	給与	月額35,000円	最短修業年限	保護者が大阪府下に住所を有する学生のうち、学力優秀心身健全で向学心を有する新学部1年生であり、経済的事情により修学困難である者	可	0	1	0	0
204	－	大学経由	森田奨学育英会	給与	30,000	最短修業年限	学部6年生、大学院4年生、大学院1年生の外国人留学生（国費・短期留学除く） ※歯学のみ対象	―	0	2	0	－
205	－	大学経由	千賀法曹育英会	給与・貸与	（給付)40,000 （貸与)80,000	1年	法科大学院の課程3年次生（2年課程の場合は2年次生）であり、かつ、前年度の成績が上位3分の1以内の者	可	0	1	0	－
206	－	大学経由	竹中育英会（大学院・継続）	給与	月額100,000円	最短修業年限	学部生時に竹中育英会の奨学生であり、卒業後に指定校内の大学院（専門職大学院含む）へ進学した者。	JASSOは可。民間給付は不可。	0	3	0	0
207	－	大学経由	中董奨学会	給与	50,000	最長2年間	農学部・大学院農学院　学部3年生または大学院1年生（修士、博士）	―	0	2	0	－
208	－	大学経由	長谷川財団	給与	月額20,000円	最短終業年限	日本国内の大学及び大学院において就学する者。 ※ 大学発行の成績証明書が必須であるため、学部1年生は原則対象外です（他大学から本学へ入学した等により、前に所属していた大学の成績証明書を発行できる者は可） ※ 留学生は対象外です	可	0	1	各学部・学院等からそれぞれ1名まで	0
209	－	個人申請	電通育英会（大学）	給与	月額80,000円 一時金300,000円	最短修業年限	※高校予約 指定高校在籍で、指定大学に進学する者	―	0	18	0	－
210	－	法学	末延財団	給与	年額900,000	2年	英米法の専任教員を置く法学部3年次在学の者	―	0	5	0	－
合　計					（給与：191団体、貸与：20団体）		※「給・貸」は貸与に含める		107	441	―	300

※1：R7年度採用者数は在籍奨学生数に含まれる（内数）
※2：在籍奨学生数は高校等での予約採用者を含む。また，年度途中辞退者は除く。
※3：北大からの応募人数

令和7年度　地方公共団体奨学金　採用者数一覧

番号	募集案内	応募方法	奨学団体名	形態	月額	期間	出願資格等	他奨学金との併給	R7年度 採用者数 ※1	在籍奨学生数	募集人数	応募人数 ※3
1	4月上旬	大学経由	富山県奨学生	貸与	自宅　45,000円 自宅外　51,000円	最短修業年限	富山県に住所を有する者の子弟であり、以下の条件を満たす者 ・新1年生は、出身学校の全学年における全履修教科の平均値が3.5以上、2年次生以上は、第1学年から申請時までの成績の平均値が3.5以上である（※GPAではない。推薦書様式に記載の計算方法に準じて算出） ・経済的理由により修学が困難である（収入基準の目安は募集要項を参照）	給付のみ可 ※貸与型は不可だが、特例で認める場合あり	0	1	上限なし	0
2	1月下旬	個人申請	函館市貸与型奨学金	貸与	月額20,000・30,000円から選択	最短修業年限	保護者が函館市民であり、世帯の年収・所得が基準を満たし、下記要件①～③を満たす函館市内在住の連帯保証人2名が得られること。 ①：独立の生計を営み奨学金の返還能力がある（65歳未満） ②：市税の滞納がない ③：函館市奨学金や函館市入学準備金の返還を怠っていないこと	函館市特別奨学金・函館市給付型奨学金との併用は不可	0	0	－	－
3	1月下旬	大学経由	函館市特別奨学生	給与	年額24万円	最短修業年限	保護者が函館市民で令和7年4月に大学・大学院に在学予定の学業優秀、身体健康、性行善良のもの	函館市給付型奨学金との併用は不可	0	0	－	－
4	2月中旬	大学経由	沖縄県国際交流・人材育成財団	貸与	【学部】：自宅通学　月額45,000円 自宅外通学　月額50,000円 【大学院（修士）】：月額70,000円 【大学院（博士）】：月額100,000円	最短修業年限	沖縄県内に住所を有する者の子弟	JASSO含め貸与は不可。給付のみ可。	0	0	－	－
5	3月下旬	大学経由	札幌市奨学生（補充）	給与	月額6,000円　※新1年生のみ入学支度資金14,000円の支給あり。	1年間	以下のすべての要件を満たす者。 ・高校等を初めて卒業した日の属する年度の翌年度初日から、その翌々年度の末日までに今の大学に入学している学部生 ・本人または保護者のうち、少なくともどちらか一方が札幌市内に居住している者 ・本人と保護者の資産の合計額が2,000万円未満（保護者・生計維持者が1人の場合は1,250万円未満）である者 ・GPAが2.0以上である者（新1年生の場合は、高校3年生の評定平均値が3.0以上である者）	可。ただし札幌市特別奨学金との併給は不可。	7	7	制限なし	10
6	3月上旬	大学経由	加西市医師確保奨学金	貸与（免除有）	月額30万円以内 入学支度金100万円以内（入学金相当額）	令和8年3月まで ※貸付決定は毎年度行いますが、大学卒業までの期間は原則として引き続き貸与が行われます。	将来、医師として加西病院に勤務する意思を有する医学生（大学において医学を履修する課程に在学する者）	可。ただし、他の地方公共団体又はその他の団体が運営する同様の目的をもった奨学金との併用は不可。	0	0	－	－
7	3月下旬	大学経由	札幌市奨学生（継続）	給与	6,000	1年間	札幌市民である（志願者の親又はこれに代わる者が本市内に住所を有する場合を含む）学部生及び大学院生	－	20	20	－	20
8	3月中旬	大学経由	上越学生寮奨学生	貸与	学部生：月額70,000円、大学院生：月額100,000円	最短修業年限	上越市、妙高市、糸魚川市のいずれかの市に3年以上住所を有し、かつ、そこに所在する中学校または高等学校を卒業した学部生及び大学院生	可。ただし「上越市奨学金」との併給は不可。	0	0	－	－
9	4月上旬	大学経由	秋田県獣医師修学生	貸与（免除有）	月額　100,000円	卒業まで（最長6年間）	獣医学を履修する課程に在籍し、卒業後に秋田県の獣医師職員として勤務しようとする者	－	0	0	－	－
10	4月下旬	個人申請	北見市医師修学資金貸付（大学生修学資金）	貸与（免除有）	月額15万円以内	6年以内	大学の医学課程に在籍し、将来医師として北見市内で勤務や開業を考えたい方	可。ただし、勤務の指定を条件とする貸付との併給は不可。	0	0	－	－
11	4月下旬	個人申請	北見市医師修学資金貸付（研修資金）	貸与（免除有）	月額15万円以内	2年以内	初期臨床研修を受けており、将来医師として北見市内で勤務や開業を考えたい方	可。ただし、勤務の指定を条件とする貸付との併給は不可。	0	0	－	－
12	4月上旬	大学経由	石川県奨学生	貸与	月額44,000円	最短修業年限	石川県に3年以上居住している者の子弟、学部学生のみ	可※JASSOの貸与は不可（給付は可）	0	2	制限なし	0
13	4月下旬	大学経由	松江市ふるさと奨学金	貸与（免除有）	【自宅通学】：月額43,000円、 【自宅外通学】：月額47,000円	最短修業年限	父母またはこれに代わる人が松江市に居住する者及び卒業後松江市に居住する意思のある者	可	0	0	－	－
14	4月下旬	大学経由	松江市高井奨学金	給与	【自宅通学】月額17,000円、 【自宅外通学】月額19,000円	最短修業年限	父母またはこれに代わる人が松江市に居住する者	可	0	0	－	－
15	5月下旬	大学経由	福島県奨学生	貸与	月額35,000円	最短修業年限	学部生のうち福島県内の高等学校を卒業した者、または県外の高等学校を卒業したが、卒業の月に福島県奨学資金を受けていた者 ※その他の応募資格は募集要項を参照のこと。	給与のみ可	0	0	上限なし	0
16	5月上旬	部局経由	北海道看護職員養成修学資金	貸与（免除有）	月額36,000円	1年	将来道内において保健師・助産師・看護師業務に従事しようとする学生	勤務・研修について付された他の自治体等の奨学金とは併用不可。	0	0	－	－
17	4月上旬	大学経由	石川県奨学生（緊急）	貸与	月額44,000円	採用を決定したときから採用年度末まで	石川県に3年以上居住している者の子弟、学部学生で家計が急変した者	可※JASSOの貸与は不可（給付は可）	0	0	制限なし	0
18	7月下旬	大学経由	函館市貸与型奨学金（追加募集）	貸与	月額20,000・30,000円から選択	最短修業年限	保護者が函館市民であり、世帯の年収・所得が基準を満たし、下記要件①～③を満たす函館市内在住の連帯保証人2名が得られること。 ①：独立の生計を営み奨学金の返還能力がある（65歳未満） ②：市税の滞納がない ③：函館市奨学金や函館市入学準備金の返還を怠っていないこと	奨学金によっては、併用を認めていない場合があるため、函館市に確認すること	0	0	－	－
19	8月上旬	大学経由	沖縄県国際交流・人材育成財団（追加募集）	貸与	【学部】：自宅通学　月額45,000円 自宅外通学　月額50,000円 【大学院（修士）】：月額70,000円 【大学院（博士）】：月額100,000円	最短修業年限	沖縄県内に住所を有する者の子弟	JASSO含め貸与は不可。給付のみ可。	0	0	－	－
20	8月上旬	個人申請	徳島県奨学金返還支援制度	給与	JASSO無利子奨学金の借受総額×1/2（上限額125万円） JASSO有利子奨学金の借受総額×1/3（上限額85万円）	就業4年目から8年目までの5年間	以下のすべてに該当する者。 ・大学または大学院でJASSO等の奨学金の貸与を受けている。 ・令和7年度または令和8年度に卒業・修了予定である。 ・卒業・修了後に徳島県内に住所を有する予定であるとともに、徳島県内事業所に正規職員（公務員を除く）として就業を希望する者。 ・病気、けが等やむを得ない事情による場合を除き、大学等を修業年限以内で卒業する者 ・一定の県内就業を返還免除要件とする公的貸付制度を利用していない者又は利用しない者（当該公的貸付制度を利用した者又は利用する者であって、その貸付期間が無利子奨学金又は有利子奨学金の貸与期間と重複しない者を含む。） ・一定の県内就業を給付要件とする公的給付制度を利用していない者又は利用しない者	－	0	0	0	－

21	－	大学経由	岩手県看護職員修学資金	貸与（免除有）	【学部学生】：月額51,000円以内、 【修士課程学生】：月額88,000円以内	最短修業年限	①医学部保健学科看護学専攻に在学する学部生、または看護を専門分野にする大学院修士課程の学生で、卒業後直ちに岩手県内の特定施設に看護職員として就職することを希望する学生 ②連帯保証人2名を立てることが出来る学生	勤務・研修について付された他の自治体等の奨学金とは併用不可。	1	1	上限なし	1
22	－	個人申請	北海道医師養成確保修学資金貸付	貸与	授業料：535,800円（年額） 生活費：120,000円（月額）	6年以内	本学医学部新入生で、医師免許取得後、一定期間、北海道知事が指定する北海道内の公的医療機関等に勤務する意志のある者	―	0	3	－	－
23	－	大学経由	いわての学び希望基金奨学金	給与	月額60,000 （自宅） 月額100,000（自宅外）	最短修業年限	東日本大震災津波に被災し、親を亡くした又は親が行方不明となった子どもで、学校に在籍する児童、生徒等を対象としています。	他の都道府県から給付型奨学金を受け取っている場合は不可。	0	1	－	－
24	－	大学経由	茨城県奨学生	貸与	自宅通学　月額36,000円 自宅外通学　月額40,000円	最短修業年限	茨城県に居住する者の子弟である学部生	JASSOは不可（貸与のみ。給付は可。）	0	1	上限なし	0
25	－	大学経由	沖縄県国際交流・人材育成財団（学部）	貸与	自宅通学　月額45,000円 自宅外通学　月額50,000円	最短修業年限	沖縄県内に住所を有する者の子弟	JASSO含め貸与は不可。給付のみ可。	0	2	－	－
26	－	大学経由	高岡市人づくり奨学資金	貸与	年額50万円	最短修業年限	保護者（親権者、未成年後見人その他これらに代わる者）が高岡市内に住所を有する者	給付のみ可	0	1	－	0
27	－	大学経由	三条市諸橋轍次博士奨学金	貸与	年額54万円以内	最短修業年限	次の要件すべてを満たす方。 (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する大学、同法第124条に規定する専修学校 （専門課程で修業年限が2年以上のものに限る。）その他市長が認める教育機関（以下「大学等」という。）に修学すること。 (2) 高等学校又は高等専門学校の学校長その他市長が別に定める者から推薦を受けていること。 (3) 保護者若しくはこれに代わる者（以下「保護者等」という。）が1年以上前から本市に住民登録していること又は本人が本市に居住する三条市立大学の学生であること。 (4) 大学生等奨学金の貸与を受けなければ修学が困難であること。 ※基準は新潟県奨学金の所得要件に準じています。詳細はホームページを御覧ください。 (5) 国、県その他の機関の制度により奨学金の貸与を受けていないこと	不可	0	1	－	－
28	－	個人申請	島根県育英会	貸与	30,000，40,000，50,000，60,000，70,000から選択	最短修業年限	島根県出身者の学部生、大学院生	―	0	2	－	－
29	－	個人申請	函館市給付型奨学金	給与	月額　30,000 入学一時金　100,000（上限）	最短修業年限	函館市の住民基本台帳に記録されている者に扶養されている高校・高等専門学校の3年生および定時制高校4年生，または，令和2年度以降に高卒認定試験合格者で翌年度に4年制以上の大学へ進学予定であること。	－	0	1	－	－
合　計					（給与：7団体，貸与：22団体）		※「給・貸」は貸与に含める		28	43	―	31

※1：R7年度採用者数は在籍奨学生数に含まれる（内数）
※2：在籍奨学生数は高校等での予約採用者を含む。また，年度途中辞退者は除く。
※3：北大からの応募人数